

【日 時】 平成26年 2月12日

【訪問先】 能見台南小学校 竹内進校長

【概 要】 児童数 848名 28学級（各学年4学級 個別支援4学級） 教員42名 職員4名

## 【視察報告】

### 1、校長先生のモットーや教育目標

モットー“情熱を持ち続ける”成功するか失敗するかよりも熱意を持って関われるかどうか、気持ちを伝えられるかどうか。教員は生徒に1人の人間として向き合っているほしい。

### 2、英語・国際教育への取り組み

外国につながる子が母国語を話せなくなってしまうと親子のコミュニケーションにも支障が出る。

出身国のアイデンティティを継承することが難しい。

### 3、地域のボランティアの協力

朝はお年寄りの方、放課後は保護者の方々が子供の登下校の見守り活動をしている。

地域のお母さん方が手芸や理科実験、ガーデニングサークルなどPTA自主サークルをつくり活動を行ったり、自ら講師を呼び講座を開いたりするなどとても積極的。毎週水曜日保護者による読み聞かせも行っている。

### 4、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

小中高校生が参加する自治会の音楽フェスティバルを開き、上級生の憧れが学習、進学への意欲を生む。

### 5、授業での力を入れた取り組み

国語課の重点研究を行い、子供の思考力や表現力を育てている。

### 6、学校組織の強化・人材育成

富岡中との学習指導・生活指導の円滑な接続を大切にしている。

週3日学校司書を配置した。図書室に訪れる子供の数が倍になった。

### 7、その他

釜利谷高校の野球部が朝に見守りの手伝いやマラソンを一緒に走るなどの交流がある。釜利谷高校の学び直し教育により、小学校の授業を見学する。

生活指導の専任教諭がいて、クラスを回ってチェックしている。



学校のクリーン活動の写真



## 【所 感】

各世代を巻き込み“地域の3世代”で連携をとり取り組みを行い、地域を活性化させたいという校長先生の言葉が印象的であった。

また、保護者のお母さん方の地域への関わり方の強さや貢献度の高さが特徴的だと感じた。

区内で児童数が最も多いため抱える問題も必然と多いようであった。

